

令和6年度 第2号(通算30号)

# 諫早市ボラ連だより

- ❖ 第1回代表者会議(9月27日)  
第2回代表者会議(12月3日)を開催しました!



9月17日(火)、第1回代表者会議を開催しました。

パネル展in図書館とボランティアフェスティバル(通称ボラフェス)について協議しました。パネル展については、皆様からのご意見で受付に人員は配置しないもののアンケートについては検討することにしました。加入団体の活動を広く知っていただくよい機会になればと思います。なお、社会福祉大会でのパネル展については、会場の都合により今年は開催できなくなりました。

ボラフェスについては、12月の第2回代表者会議で具体的な準備計画をお伝えすることにしました。

## ボランティアフェスティバル実行委員紹介

### 担当理事

村瀬 弘幸(諫早清掃愛護クラブ)  
近藤 久美子(諫早エコライフの会)

### 実行委員

山田 彰子(諫早市連合婦人会)  
深江 衛(いさはやおもちゃ病院)  
小柳 敏哉(諫早地区保護司会)  
久保 啓子(まきの会)  
大淵 公子(諫早市老人クラブ連合会)  
平野 祥子(諫早レクリエーション研究会)  
中島 ふさ(諫早オカリナ“桜づつみ”)  
(順不同)

12月3日(火)、第2回代表者会議を開催しました。11月に開催したパネル展in図書館の報告とボラフェスの詳細についての協議を行いました。

ボラフェスについては昨年に引き続き会場を社会福祉会館とし、“交流と体験”を主にボランティア連絡協議会会員の相互理解を深めるとともに市民の皆様にも広く知って関心を持ってもらう機会になればと思います。昨年、子ども達の参加も多かったため、子ども達用の参加賞を会員有志で手作り(折紙)することになりました。準備を通して会員間の交流もできるのではないのでしょうか。活発なご意見をいただきました。

また、新規加入の2団体の紹介も行いました。



## ❖ パネル展 in 図書館



諫早市ボランティア連絡協議会(以下「ボラ連」)のパネル展を令和6年11月7日(木)～11月12日(火)に諫早図書館の1F 展示ホールにて実施しました。

皆様のご意見をもとに、来場者把握のため、出口あたりにシールコーナーを設けました。125名の来場者を把握できましたが、シールを貼らずに帰られた方もおられるようです。

今回は、社会福祉協議会の広報キャラクターである「かんたくん」にも活躍してもらう展示を試みて楽しさをプラスしてみました。アンケートでは、「諫早市のより良い地域づくりのため各団体、頑張っって欲しい」などの応援メッセージをいただきました。ボラ連の団体を益々多くの方に知っていただき、さらには関心を持っていただけると願っています。

会員の皆様には、このパネル展開催において、設営や撤収にも多くの方にご協力をいただきありがとうございました。

### <新規加入団体のご紹介>

新規加入された2団体です。登録数56団体(R6.12月現在)

#### ◆ボランティア団体 いやしの手

(代表:山口 美佐恵)

ハンドマッサージを訪問して行います。子育て中のママ達にちょっとだけでも子どもと離れて自分の時間をもってほしい。そんな想いで始めたボランティア活動です。

#### ◆NPO 法人いしだたみ

認知症行方不明者家族等の支え合いの会

(代表:江東 愛子)

認知症により行方不明になったままの家族に関する集い事業や相談業務をしています。当事者として声をあげ、同じ目線で支え合っているながら、社会に向けて様々な行動を起こし、情報を発信していきます。

【編集後記】 令和6年は能登半島地震で始まりいろいろな事がありました。さて巳年の令和7年はどんな年になるのでしょうか。蛇は脱皮を繰り返し成長することから「復活と再生」「無限の可能性」などの意味があると言われています。無限の可能性を秘めた私たちのボランティア活動が充実・発展するよう一緒に活動していきましょう。(担当:平山)